

実践事例⑥ 小平市立小平第十二小学校

1 取組・活動名

「仕事について考えよう」 ～ みんなのために ～

2 取組・活動のねらい

<事前>

- 小平市役所との連携授業やゲストティーチャーによる「おもてなし講座」などを通して、働くことの意義や楽しさについて知り、周囲の人々の役に立とうとする心情を育てる。

<職業体験>

- 日頃のたてわり班活動で養っているリーダー性、高学年としての思いやりを幼稚園職業体験を通して、さらに力を伸ばす。
- 今まで学んできた、「おもてなし」（挨拶の仕方や礼儀、態度）の気持ちを幼稚園職業体験に生かす。

<事後学習>

- 事前学習や職業体験を通して培ったボランティアマインドを基に「自分ができること」、「人の役に立てること」を考えることを通して、自主的に実践しようとする意欲や態度を育てる。

3 教育課程上の位置付け

「総合的な学習の時間・8時間」

4 実施上の工夫

- ・ 既習事項（おもてなしの学習など）を意識させて、単元の指導を進めていった。
- ・ 事前学習において、幼稚園だけに視点を置くのではなく、職業全般に目を向けさせ、仕事に対する関心や勤労意識を高めていけるよう指導を進めた。
- ・ 市役所の行政経営課、保育課との連携授業、大学教授による「おもてなし講座」など現場で働く方や専門家から直に話を伺う交流の場を設定し、その方々の思いや姿勢から前向きな勤労観を育てた。
- ・ 近隣の幼稚園と連携し、職業体験の場を設定して、幼児や先生と触れ合う中で、働く楽しさややりがいを感じられるよう配慮し自己有用感の育成を図った。
- ・ 事前学習・職業体験・事後学習を「勤労・奉仕」に視点を当てて指導内容を設定し、ボランティアマインドの醸成につながるようにした。

5 本取組・活動の内容



- ・ 「小平市役所 行政経営課」と連携した授業を第6学年で実施し、市役所の方々の仕事内容について学習した。また、仕事で大変なことややりがいなどについても詳しく話を聞き、働くことに対する考え方をより深めることができた。この授業を、下記の取組の導入として設定した。
- ・ 「小平市役所 保育課」と連携した学習を実施した。幼稚園や保育園では、一日どのような流れで仕事が行われているのかを詳しく知った。また、教育、保育現場では、どのような課題を抱えているのか、子育ての現状などについても話をしてもらい、自分たちがそのような課題に今後どのように関わっていけるのかを考えた。

.....



- ・ 地域の幼稚園と連携した職業体験を実施した。当日までに学んできた、「おもてなし」(挨拶の仕方、礼儀、態度)の心を存分に生かすことができた。
 - ・ また、実際に自分たちが働くことで、保育課との連携授業で学んだことを実感するとともに、仕事の大変さや楽しさなどについて感じることもできた。その他にも、「ラーメン店」と連携した授業も行い、さらに働くことの意義や楽しさなどについて理解を深めることができた。
- ・ おもてなしの学習や職業体験に向けての事前学習、職業体験、ラーメン店と連携した学習などを通して、人々の役に立とうとする心情を育て、様々な知識を身に付けることができた。それを普段の生活や将来に生かしていけるよう、事後学習として、卒業前に学校のみんなのためになることを考え、6年全員でそれを実践した。また、卒業式では、それらを踏まえ、一人一人が将来の夢について語った。
 - ・ このように、キャリア学習とつなげた「ボランティアマインドを醸成」するための取組を実践した。

6 成果

- ・ 事前に学習した「おもてなし」について存分に生かすことができた。
- ・ 職種について重点をおくのではなく、仕事に重点をおいて指導を重ねていくことで、勤労に対する幅広い知識や考え方を知ることができた。
- ・ 職業体験で実際に働くことを通して、勤労・奉仕の精神を醸成することができた。
- ・ 周囲の人々の役に立つことの意義やその良さについて実感を通して、学ぶことができた。